

木製の

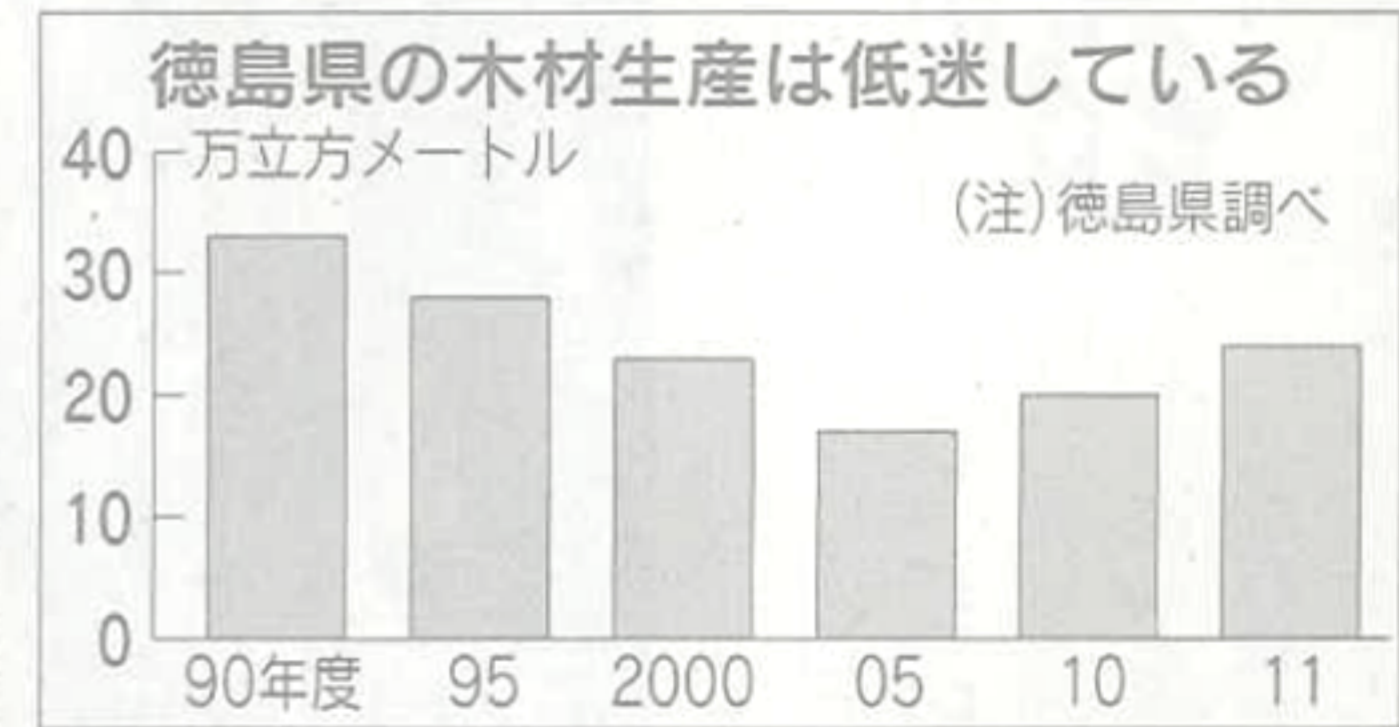
画力と顧客網を活用し、極薄シートを使った新商品開発と販路を開拓する。安価な輸入木材との競合で国産木材の生産は低迷しており、新たな用途を開発して需要回復を目指す。



天然木材から独自技術で加工した極薄シートを生産(徳島県東みよし町)

ビッグウィルの極薄シートは徳島県産のスギと高知県産のヒノキの間伐材を使用。厚さは0.2ミリ弱にする。切り出された木材を薄くする「突き板」と呼ばれる工程を経た後、独自技術でさらに薄く仕上げる。専用が開発した和紙を裏側に貼り付け、紙のように折り曲げられるようにした。

国産材の用途開拓



によると、祝儀袋は和紙製に比べ約2倍、のし紙は上質紙を使ったものの約5倍の価格だという。

スマホでの

香川銀ネットバン

香川銀行は個人向けのインターネットバンキングのサービスを刷新した。スマートフォン(スマホ)などでの利用を可

津波備え病院に止水壁

愛媛地域医療計画 今年度から整備

愛媛県は南海トラフを震源域とする巨大地震など大規模災害に備え、医療体制の強化などを盛り込んだ地域医療再生計画案をまとめた。津波による浸水が懸念される病院への止水壁設置などを盛り込んだ。県民からの意見を反映し、今月末に厚生労働省に同計画を提出する。承認が得られれば、今年度中にも計画に基づき整備事業を始める。

事業費は総額18億2700万円を見込む。うち15億円分は国の地域医療再生基金の活用を予定する。9億6200万円と事業費の約半分を占めるのが、災害時の医療提供体制の整備だ。具体的には津波被害が懸念される市立宇和島病院(宇和島市)

に、高さ6メートルまでの津波で浸水しないよう止水壁を設置する。電源が失われた場合に備え、自家発電機も整備する。災害時に情報の収集や関係機関での共有が円滑に進むよう、情報システムを更新する。比較的被害が小さい地域の医療機

関が被災者らを受け入れ治療できるよう、通信設備や自家発電用燃料タンクなどを整備する。地域の医師確保にも取り組む。市町が実施する医学部学生に対する奨学金事業に補助金を出す。医師不足地域の医療機関には医師を派遣する。

企業のアジア進出支援

香川県 10年間の成長戦略案

香川県は今年度から10年間の産業成長戦略案をまとめた。人口減が続くなか、県産品などを核に新たな産業基盤を育成するほか、アジアを中心に県内企業の海外進出支援

などを進める。県は成長戦略により、県人口のうち、転入数から転出数を引いた社会増減をプラスに回復することに加え、海外進出企業を約10%増やすことなどを目指す。

重点プロジェクトとして産官学で開発を進めている希少糖を使った産業の集積に取り組むほか、県産品として認知度が上がりつつあるオリーブ関連産業を強化する。県が

構築した遠隔医療システムの機能拡充も進める。成長戦略により2022年度までの平均名目経済成長率を、全国平均を上回る水準に引き上げる。海外進出企業数を12年度の381社から、22年度には420社に増やす。転入・転出による人口の社会増減をプラスに回復させる。

愛媛 小冊

軽油

軽油価格 政府の